生きる、を支える科学技術
防災科研 NIED

令和3年度 デ活はプロジェクト最終年度を迎えました。
災害時を想定し、今年度もオンライン開催を実施。

Zoomウェビナー（双方向）
▶ / データ利活用協議会

デ活.
データ利活用協議会
Data use and application council for resilience
シンポジウム2021

for R 首都圏レジリエンスプロジェクト
Tokyo Metropolitan Resilience Project

首都圏レジリエンスプロジェクト・データ利活用協議会は「予防」「予測」「対応」の観点から総合的なレジリエンスの向上に取り組んでいます。

本シンポジウムにおいては、プロジェクト最終年度として、デ活、特に産官学民が融合しその課題解決に取り組んできた分科会から**「早期被害把握分科会」「生活再建分科会」「大規模集客施設分科会」「集合住宅分科会」**の4分科会のこれまでの取り組みと今後のビジョンを共有いたします。

令和３年度 第２回デ活シンポジウム　ONLINE　事前申込制／参加無料　Zoomウェビナー参加で双方向のコミュニケーション

プロジェクト最終年度のデ活が伝えたいこと（その２）

2017年度に始まった当プロジェクト、同年度には「データ利活用協議会（デ活）」が設立され、更に会員ニーズ別に8つの分科会が編成されて参りました。
今回のシンポジウムでは4分科会の分科会会長・副会長・組織会員らが、それぞれ社会実装に向けた取り組みなどを発表します。

第１部　基調講演：首都圏レジリエンスプロジェクト・デ活 の総括に向けて
第２部　グループセッション：４分科会のこれまでの取り組みと今後のビジョン
第３部　全体セッション：プロジェクト最終年度のデ活が伝えたいこと（その２）

2021.12.20 月　15:00-17:00
（14:45より中継を開始します）

シンポジウム参加者 事前申込登録ページ
https://nied-forrduc-regist.smartcore.jp/

YouTube LIVE でも同時中継　https://www.youtube.com/c/DEKATSU

超小型地震計（特許出願中）

文部科学省

令和３年度 第２回デ活シンポジウム ONLINE【Zoomウェビナー参加で双方向のコミュニケーション】

プロジェクト最終年度のデ活が伝えたいこと（その２）

プログラム

■ 15:00　**はじめに**　**下村 健一**（令和メディア研究所主宰 / 白鴎大学 特任教授 / 元TBSキャスター）

あいさつ　**文部科学省**（研究開発局 地震・防災研究課）

平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）

第１部　基調講演

■ 15:10　**「首都圏レジリエンスプロジェクト・デ活 の総括に向けて」**

平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）

第２部　グループセッション　４分科会のこれまでの取り組みと今後のビジョン

■ 15:20

①「早期被害把握分科会」～早期被害把握の技術～

鵜飼 章弘（早期被害把握分科会会長 / 東京海上日動火災保険株式会社 総務部 部長 兼 災害対策推進室長）

井ノ口 宗成（早期被害把握分科会副会長 / 富山大学 都市デザイン学部 准教授 / サブプロ【a】分担責任者）

堀江 啓（早期被害把握分科会 / MS&ADインターリスク総研株式会社 総合企画部 リスク計量評価グループ長）

②「生活再建分科会」～生活再建分科会と市町村横断型応援受援枠組みによる被災地支援～

涌井 正之（新潟県防災局 次長）

佐藤 和彦（大正大学地域構想研究所 研究員）

③「大規模集客施設分科会」～地震計を活用した防災対策の可能性～

酒井 慎一（大規模集客施設分科会会長 / 東京大学地震研究所 教授　/ 同大学 情報学環・学際情報学府 教授 / サブプロ【b】統括）

松本 健二（大規模集客施設分科会副会長 / 成田国際空港株式会社 空港運用部門 総合安全推進部 運用計画グループ マネージャー）

④「集合住宅分科会」～地震計を活用した防災対策の可能性～

木村 玲欧（集合住宅分科会会長 / 兵庫県立大学 環境人間学部 教授 / サブプロ【a】分担責任者）

松本 悟（集合住宅分科会副会長 / UR都市機構 災害対応支援室 事業支援課長）

第３部　全体セッション

■ 16:30　**プロジェクト最終年度のデ活が伝えたいこと（その２）**

下村 健一（令和メディア研究所主宰 / 白鴎大学 特任教授 / 元TBSキャスター）

平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）

および　**第２部の出演者に加え、全分科会の会長・副会長**

■ 16:55　**むすび**　**下村 健一**（令和メディア研究所主宰 / 白鴎大学 特任教授 / 元TBSキャスター）

首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト／データ利活用協議会（デ活）

首都圏レジリエンス研究推進センターは、以下に掲げる3つのサブプロジェクトの推進、データ利活用協議会（デ活）の運営を行ない、これらの有機的連携を通じて、官民一体の総合的な事業継続や災害対応、個人の防災行動等に資するデータの収集・整備をめざします。

サブプロ(a)

首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ利活用に向けた連携体制の構築

サブプロ【a】では、(1)被害の拡大を阻止し、都市機能の早期復旧・復興を実現する技術的課題抽出、データ利活用策の検討をするとともに、(2)データ利活用に向けた民間企業や関係機関等との連携を模索する（社会科学を中心とした防災研究）。
16の研究機関・大学（25名）と1つの企業・団体（1名）が研究開発を実施。

統括：**田村 圭子**　新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授
上石 勲　防災科研 首都圏レジリエンス研究推進センター 副センター長

サブプロ(b)

官民連携による超高密度地震動観測データの収集・整備

サブプロ【b】では、(1)官民連携超高密度観測データの収集・整備と、(2)マルチデータインテグレーションシステムの検討を行う（理学を中心とした防災研究）。3つの研究機関・大学（29名）と1つの企業・団体（1名）が研究開発を実施。

統括：**酒井 慎一**　東京大学 地震研究所 / 情報学環・学際情報学府 教授
青井 真　防災科研 地震津波火山ネットワークセンター長・総括主任研究員

サブプロ(c)

非構造部材を含む構造物の崩壊余裕度に関するデータ収集・整備

サブプロ【c】では、(1)非構造部材を含む崩壊余裕度に関するデータ収集・整備、(2)地盤－建物系のセンシングデータの収集・整備を行う（工学を中心とした防災研究）。12の研究機関・大学（31名）と3つの企業・団体（4名）が研究開発を実施。

統括：**西谷 章**　早稲田大学 理工学術院 総合研究所 特任研究教授
梶原 浩一　防災科研 地震減災実験研究部門（兵庫耐震工学研究センター）部門長・総括主任研究員

お問い合わせ
防災科研 首都圏レジリエンス研究推進センター
古屋・郡司・三條・小野　E-mail：info_for_r@bosai.go.jp

データ利活用協議会ホームページ
https://forr.bosai.go.jp/duc/